

② 立場を明確にした上で発言すること【B1三】

1 第一小学校の六年生の学級では、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」という議題で、それぞれの立場に分かれて討論会を行っています。次は、そのときの【討論会の様子】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【討論会の様子】：①・②・③・④・⑤の発言の内容は、あとの問いと関係があります。

司会 これから討論会を始めます。今回の議題は、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」ということです。ではまず、パソコンを使う立場からの主張をお願いします。

大野 ①はい。ほくは、パソコンを使う方がよいと思います。手書きは、文字を書いたり消したりするのがめんどろだからです。パソコンであれば、何度でも簡単に書き直すことができますので、作業に取り組みやすいと思います。

丸山 ②私もパソコンを使う方がよいと思います。記念に残る卒業文集なので、読みやすくつくるべきだと考えます。手書きだった去年の卒業文集には読みにくいところがありました。パソコンであれば、文字が上手かどうかに関係なく、文字の形や大きさがそろるので、読みやすくなります。

司会 次に、手書きの立場からの主張をお願いします。

平川 ③残した方が、記念に残る卒業文集になると思います。六年生のときの手書きの文字をそのまま残した方が、手書きの方がよいと思います。学校のパソコンは、利用できる場所や時間が限られています。手書きであれば、場所や時間を気にせず、自分のペースで作業を進めることができますので、取り組みやすいと思います。

丸山 ④ここで、一度整理をします。それぞれの主張に共通する観点が二つあります。一つ目は、丸山さんと平川さんから出された「ア」についてです。二つ目は、大野さんと関口さんから出された「イ」についてです。では最初に、手書きの立場からパソコンを使う立場に対して、二つの観点をそれぞれについての質問や意見を出してもらいます。まず、一つ目の「ア」から、質問や意見をお願いします。

丸山 ⑤丸山さんの発言に対して質問があります。私はパソコンの操作が得意ではありません。パソコンを使って文章を書くことに慣れていない人は、学校に何人ぐらいいると考えていますか。

林 はい。学級の半分ぐらいの人は、使うことに慣れていないと思います。

丸山 丸山さんの発言に対して意見があります。全員がパソコンを使いこなせるわけではないので、作業に時間がかかってしまい、完成がおそくなります。パソコンを使うよりも、手書きの方がスムーズに取り組みるので、手書きがよいと思います。

谷 確かに、パソコンを上手に使えない人は時間がかかると思っています。そうであれば、使い慣れていない人が、そうできない人に教えながら取り組むこともできると思います。

丸山 ほかにもありませんか。（発言がないことを確かめたいようであれば、次に、二つ目の「イ」に関する卒業文集のあり方について、質問や意見をお願いします。）

大野 大野さんの発言に対して「イ」があります。

あなた (討論会が続く)

三 あなたは、【討論会の様子】の中の「イ」のところで、大野さん②の発言に対して、手書きの立場から「質問」か「意見」かのどちらかを述べます。解答用紙の□の中に「質問」か「意見」かのどちらかを選んで書き、その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 大野さん②の発言の中の言葉を、「 」を使って引用して書くこと。なお、「 」の中に引用する言葉は25字以内とする。
- 書き出しの文に続けて、80字以上、100字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの文は字数にふくむ。

【正答例①】（大野さんの発言に対して）質問（があります。）「去年の卒業文集には読みにくいところがありました」と言いましたが、どの部分が読みにくかったですか。また、文字以外に読みにくいところはありましたか。（94字）

【正答例②】（大野さんの発言に対して）意見（があります。）パソコンであれば、「文字の形や大きさがそろう」と言いましたが、手書きでも原こう用紙のますに合わせていねいに書けば、読みやすい文集になると思います。（94字）

正答率（%）兵庫県：26.3、全国：28.3 無解答率（%）兵庫県：4.7、全国：5.0

〈過去の調査における類問〉

H24B② 正答率（%）兵庫県：26.2、全国：25.7

〈誤答の状況〉

・手書きの立場に立って質問、意見のどちらかを選択した上で、「25字以内で引用」「書き出しの文に続けて、80字以上、100字以内で書く」ことができている・・・59.2%

〈主な原因〉

- ① 話し合いの検討・分析の結果を、解答の条件に合う形で（引用して）書く力が不足していると考えられる。
- ② 話し合いの内容について、共通点・相違点を整理し具体的な意見や質問を述べる活動が授業の中で日常的に行われていないと考えられる。

〈今後の指導に向けて〉

物事を話し合っただけで決める活動や、考えを深め合う討論などの話し合い活動に親しませる指導を、継続的に取り入れる。話し合いで出た意見について質問や意見を考えさせる、その際に相手の発言を適切に引用する、話し合いの中での良い発言に注目させる、といった取組を年に数回、あるいは学期に数回など継続的に行い、日常生活の中で生かせるようにすることが大切である。

【例1 パネル討論をしよう（東京書籍5年上）】

- 話し合いで出た意見のうち一つを選び、それに対する質問や意見を考える

<p>■ 「話し合いで出た意見から一つを選び、質問や意見を考えよう」</p> <p>・ パネル討論の発言から、質問や意見を述べる。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>B</p> <p>ぼくは、料理がいいと思います。和食はユネスコ無形文化遺産に認められるほど素晴らしいからです。</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>A</p> <p>私は、日本の物語が大好きです。「かさこじぞう」など、いいお話がたくさんあるからです。</p> </td> </tr> </table>	<p>B</p> <p>ぼくは、料理がいいと思います。和食はユネスコ無形文化遺産に認められるほど素晴らしいからです。</p>	<p>A</p> <p>私は、日本の物語が大好きです。「かさこじぞう」など、いいお話がたくさんあるからです。</p>
<p>B</p> <p>ぼくは、料理がいいと思います。和食はユネスコ無形文化遺産に認められるほど素晴らしいからです。</p>	<p>A</p> <p>私は、日本の物語が大好きです。「かさこじぞう」など、いいお話がたくさんあるからです。</p>		

<p>質問と意見の区別ができていない、発言の引用をしていない、取り上げた発言に合致する内容を述べている、について評価していく。</p>	<p>〈質問の例〉</p> <p>Aさんに質問します。日本には、「かさこじぞう」など、いいお話がたくさんあるということですが、「かさこじぞう」の他にはどんなものがあるか、よいと思いますか。</p> <p>〈意見の例〉</p> <p>Bさんに意見を述べます。和食はユネスコ無形文化遺産に登録されるほど素晴らしいことですが、和食のこういうところが素晴らしいのかを伝えると、より興味を持ってもらえると思います。</p>
---	--

【例2 日常的な取組として（国語）】

<p>【低学年】 話題に沿って話し合い（聞き合い）、質問や感想を述べる活動</p> <p>（話題の例）「みんなのたからものを聞き合おう」</p> <p>「ぼくのたからものは、ふでばこです。知りたいことを聞いて下さい。」</p> <p>質問 どんなところが気に入っているのですか。</p> <p>感想 とても時間をかけて選んだということがよくわかりました。 等</p>	<p>【中学年】 理由をつけて発表したり、考えの根拠に着目させたりする活動</p> <p>（話題の例）「雨の日に教室で出来る安全な遊びを考えよう」</p> <p>カルタがいいと思います。</p> <p>①カルタが好きだからです。</p> <p>②カルタは、天気が悪くてもクラスみんなで安全に楽しめるからです。</p> <p>■ 理由をつけて意見を発表しよう。</p> <p>■ ①と②はどちらがよい意見だろうか。</p>
--	---

ポイント

- 話し合い活動の際には、話題に沿った質問や感想、意見であるかを司会者が確認しながら進行するように指導する。
- 意見を述べたり書いたりする際には、冒頭で自分の立場や結論をまず述べるような発言の仕方、説明文（意見文）の書き方になるよう繰り返し指導する。
- 「相手の意見を必ず引用して意見を言う、質問する」ことをルールにした話し合い活動に取り組ませる。